

ニセ旗作戦、メディア報道、チェイニー予言

平和統一 NEWS No. 72 (2014/9月号)

渡辺 久義

世界情勢がめまぐるしく展開しているが、私がいつも言っている通り、世界の主流メディアが認めない（そしてそのために大量に購読者を失っている）9・11テロの正しい把握と、聖書マタイ伝の毒麦とよい麦の分別の話を頭におかない限り、世界情勢を理解することはできない。それともう一つ、我々がどこへ向かっているかを教える、この世界を超えたところから見る目がなければならぬ。これを非現実的な宗教的観点だなどと言って退けるなら、現実自体が見えなくなる。我々はどこに向かっているか？ それは『ザ・シンクロシティ・キー』635ページにあるように、「嘘をつく、騙す、盗む、不敬を働く、不当に要求する、困らせる、辱める、といったことが一切不可能な」世界である。これを仮説だとしてもよいが、これが最も有効な仮説であるのは、これがなければ現状の分析ができないだけでなく、行動の方針が立たないからである。

私はたった今「寡頭政治家の嘘、盗み、殺し、破壊（のカーテン）が、いま徹底的に暴かれている」という翻訳論文を、「創造デザイン学会」サイトに載せたところである。このタイトルからだけでも、我々が今、やがて迎えるべき世界の、逆の世界に住んでいることがわかるだろう。毒麦がいよいよ実り、よい麦と同時に収穫期を迎えたということである。どんなに恐ろしいことが起きようと、この毒麦が「刈り取られ燃やされる」日は近いということである。「敵がやってきて毒麦の種を撒いていった」と言われている「敵」は、この論文では「寡頭政治家」と言っている。これは「影の政府」「闇の権力者」などさまざまに呼ばれている。

現在、いわば時局用語になっている「ニセ旗作戦」(false flag operation)は、彼らが米政府と一体となって世界支配のために仕掛けている伝統的な戦術である。これは闇の支配者と一つになった米軍が、自国民や自国の施設を自ら攻撃し、これを敵がやったことだと宣伝して世界を騙し、一気に大戦争に持ち込もうとする戦略である。にわかには信じられないことだが、これがアメリカの伝統的な作戦だったことは、今広く知られるようになった。詳しくは上記サイトの、4/24 掲載「370 便機：〈陰謀団〉の背骨を折る最後のわら？（1～4）」を見ていただきたい。米西戦争から、第一次大戦参戦、真珠湾攻撃（ルーズベルト大統領は日本軍の動きをすべて知っていて、わざと防備しなかった——米将兵の犠牲3千人）、キューバ危機、トンキン湾事件、9・11テロなど、すべてそれだが、中でもケネディ大統領時

代のキューバ危機のときの「ノースウッズ作戦」は、細密に計画された陰謀のタイプ原稿の写真版が暴露されて、どうすることもできない証拠となっている。ケネディはこれを参謀長から提示され、驚いて彼をクビにしたが、やがて暗殺されることになる。

最も新しいニセ旗作戦は、7月17日、ウクライナでのマレーシア航空機17便撃墜事件である。これは事件が起こったその日のうちに、プーチンとウクライナ反政府軍の仕業だという宣伝が世界をかけめぐったが、その証拠はなく、逆にウクライナ空軍（と背後のアメリカ）がやった証拠が次々に現れて、現在、何事もなかったかのような形になっているのは周知の通りである。（これに関する幾つかの記事を上記サイトで確認されたい。）これを調べるほどに不思議に思えるのは、どうしてこれだけ粗雑で不用意な陰謀を計画したのかということである。これは人間だけの業ではないように思える。証拠以前に、そもそも反政府軍は、ウクライナからの分離を求めているのであって、そんな世界の反感を買うようなことをするはずがないのである。ウクライナ政府はさすがにこの点を説明しようと苦慮して、これはロシアが自分でやって、我々を犯人に仕立てようとしたものだと言った——なるほど。

無知によるものか故意なのか、「人殺しプーチン」の宣伝が始まると同時に、それを疑うどころか加勢するような記事が新聞に載った。新聞離れが進んでいるという時に、これはメディア不信にますます拍車をかけるだろう。昨年6月の時点で、アメリカの「ギャロップ世論調査」によると、主流メディアの報道を信じないという人たちが80%もいたという。

ごく最近のニュース・ビデオで、（戦争犯罪人と言われている）チェイニー米副大統領がこう言っていた——「私はそのうちに、アメリカに対するもう一つの、大量死を伴う攻撃があるものと絶対的に確信している——ただ今度は、これまでより更に恐ろしい兵器が使われるだろう。」どうしてこんな予言をするのか、またできるのか？ おそらくこれを聞く人の大多数は、もう一つのニセ旗攻撃の予言と解釈するであろう。チェイニー氏は、それを承知の上で、脅しとして言っているのではなかろうか？ 9・11の前にも、アメリカは今「真珠湾タイプの事件が必要だ」と公的に言われ、これを予め知っていた人はいくらでもいた。